

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社

コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	73,107	1.7	5,671	△17.3	5,784	△17.3	3,550	△23.0
28年3月期第3四半期	71,850	0.5	6,857	3.6	6,991	△3.0	4,612	△1.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,799百万円 (△33.8%) 28年3月期第3四半期 4,230百万円 (△13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	186.57	185.08
28年3月期第3四半期	240.72	239.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	97,767	56,213	54.6	2,802.92
28年3月期	88,524	53,881	59.8	2,781.02

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 53,346百万円 28年3月期 52,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
29年3月期	—	33.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.7	7,800	△4.4	7,550	△6.3	4,650	△5.5	244.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) PT Kingsford Holdings 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	19,267,760 株	28年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	235,335 株	28年3月期	235,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	19,032,447 株	28年3月期3Q	19,162,533 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では主要経済指標が堅調に推移するなど景気回復が続いており、欧州、中国やアジア諸国においても持ち直しの動きが見られるなど、総じて緩やかな回復基調となりました。また、国内経済においても雇用が堅調に推移し個人消費も持ち直しつつあり、足許の景況感は改善しておりますが、米国新政権の諸政策の影響に加え、欧州、中国においても不安定要因が残る中、先行き不透明な展開となっております。

このような環境の下、情報電子事業、建築資材事業で増収を確保したことに加え、ライフサイエンス事業でもインドネシア連結子会社の売上が加わったことで増収となり、当社グループの売上は前年同期比で増加いたしました。

損益面では、生産効率の向上、高付加価値製品の販売強化、コスト削減などに努めたものの、情報電子事業の主力製品であるプロテクトフィルムの販売単価下げの影響を大きく受けたことに加え、減価償却費を中心とした台湾連結子会社の固定費の増加、米国連結子会社の新工場立上関連費用の増加、研究開発費・戦略的固定費の増加などがあったことにより、前年同期比で減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高731億7百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益56億71百万円（前年同期比17.3%減）、経常利益57億84百万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億50百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材では受注減少の展開となり、液体容器でも不採算部門の解消を進めたことなどにより大きく減収となりました。その一方、医薬・医療用包装材において新たに連結対象となったインドネシア連結子会社の売上が加わり、生活用包装材でも詰替用スタンディングパウチの拡販が寄与したことで、事業全体として増収となりました。

この結果、売上高は355億80百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、台湾子会社で量産体制を整え、国内分も含め生産数量としては前年を上回ったものの、業界における販売単価下げの影響を受け、売上が伸び悩む展開となりました。その一方、情報記録用材については、パソコン・サーバー向け、ならびにスマートフォン向けで大きく増収となり、剥離フィルムについても中国スマートフォン向けを中心に堅調に推移した結果、事業全体としては増収を確保いたしました。

この結果、売上高は277億82百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、煙突工事並びに空調用配管の売上は堅調に推移しましたが、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上は前年を下回りました。土木関連については、トンネル用資材の売上が減少いたしました。この結果、売上高は97億44百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産などが減少しましたが、現金及び預金、売上債権、短期の有価証券などが増加したことに加え、PT Kingsford Holdingsの株式の取得に伴い無形固定資産が増加したことなどにより、前年度末に対して92億42百万円増加の977億67百万円となりました。

負債については、未払法人税などが減少しましたが、仕入債務、借入金などが増加したことにより、前年度末に対して69億11百万円増加の415億53百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分25億88百万円を含めて562億13百万円となり、自己資本比率は54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社はヘルスケア事業のグローバル展開のため、PT Avesta Continental Pack（所在地インドネシア）と PT Indogravure（所在地インドネシア）を傘下に持つ PT Champion Pacific Indonesia Tbk（所在地インドネシア、以下 Champion）を買収する為に、Championの79.42%の株式を保有する PT Kingsford Holdings（所在地インドネシア）の全株式の60%を取得し子会社化しました。これにより、第2四半期連結会計期間において、PT Kingsford Holdings及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。また、取得日を同社の第2四半期末日の平成28年6月30日としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

このことが当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,949	6,805
受取手形及び売掛金	27,715	32,338
有価証券	6,898	8,698
商品及び製品	3,453	3,719
仕掛品	1,224	1,389
原材料及び貯蔵品	2,239	3,007
繰延税金資産	701	338
その他	1,472	1,590
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	49,647	57,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,670	36,556
減価償却累計額	△19,118	△20,104
建物及び構築物 (純額)	15,551	16,452
機械装置及び運搬具	48,044	49,879
減価償却累計額	△39,633	△41,792
機械装置及び運搬具 (純額)	8,410	8,086
工具、器具及び備品	5,318	5,918
減価償却累計額	△4,646	△5,182
工具、器具及び備品 (純額)	672	735
土地	5,848	5,882
建設仮勘定	2,460	1,146
その他	14	6
減価償却累計額	△13	△2
その他 (純額)	0	3
有形固定資産合計	32,944	32,307
無形固定資産		
のれん	571	1,735
その他	741	585
無形固定資産合計	1,312	2,320
投資その他の資産		
投資有価証券	3,669	4,069
繰延税金資産	430	472
その他	556	754
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	4,619	5,259
固定資産合計	38,876	39,887
資産合計	88,524	97,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,531	24,018
短期借入金	1,320	4,237
未払金	3,356	3,496
未払法人税等	1,444	430
賞与引当金	1,419	718
役員賞与引当金	118	64
その他	1,502	2,139
流動負債合計	28,693	35,106
固定負債		
長期借入金	313	843
繰延税金負債	507	686
退職給付に係る負債	3,977	3,974
役員退職慰労引当金	487	496
その他	662	446
固定負債合計	5,948	6,447
負債合計	34,642	41,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	6,551
利益剰余金	37,263	39,558
自己株式	△501	△501
株主資本合計	51,017	52,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,089	1,448
為替換算調整勘定	1,023	△148
退職給付に係る調整累計額	△200	△161
その他の包括利益累計額合計	1,912	1,138
新株予約権	236	278
非支配株主持分	715	2,588
純資産合計	53,881	56,213
負債純資産合計	88,524	97,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	71,850	73,107
売上原価	54,950	56,889
売上総利益	16,899	16,217
販売費及び一般管理費	10,042	10,546
営業利益	6,857	5,671
営業外収益		
受取利息	7	17
受取配当金	123	102
受取保険金及び配当金	48	82
その他	119	132
営業外収益合計	299	334
営業外費用		
支払利息	9	30
売上割引	29	25
為替差損	110	155
その他	14	10
営業外費用合計	165	221
経常利益	6,991	5,784
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	154	61
特別利益合計	156	62
特別損失		
固定資産売却損	0	43
固定資産除却損	5	6
投資有価証券売却損	9	-
事業構造改善費用	66	-
その他	5	0
特別損失合計	86	50
税金等調整前四半期純利益	7,060	5,796
法人税、住民税及び事業税	2,112	1,800
法人税等調整額	314	366
法人税等合計	2,426	2,167
四半期純利益	4,634	3,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,612	3,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	4,634	3,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	360
為替換算調整勘定	△394	△1,235
退職給付に係る調整額	19	44
その他の包括利益合計	△403	△830
四半期包括利益	4,230	2,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,230	2,776
非支配株主に係る四半期包括利益	0	23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,817	27,526	9,505	71,850	-	71,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192	564	65	823	△823	-
計	35,010	28,091	9,571	72,673	△823	71,850
セグメント利益	2,016	4,420	420	6,857	-	6,857

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,580	27,782	9,744	73,107	-	73,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	647	61	894	△894	-
計	35,766	28,429	9,805	74,001	△894	73,107
セグメント利益	2,207	3,071	392	5,671	-	5,671

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。